※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　数学 A」（数研出版）						
副教材等	「改訂版　チャート式　基礎からの数学Ⅰ+A（青チャート）」（数研出版） 「改訂版　青チャート完成ノート」（数研出版） 「改訂版　求値問題・短期完成　図形の性質ノート」（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まずは、授業をしっかり受けて、予習復習する習慣をつけてください。
高校の数学は、進度が速く、また高度です。参考書を見ると、教科書に準拠した問題から、大学入試でよく問われる問題まで網羅されているので、一度の学習ですべてを理解するのはなかなか難しいです。簡単には解けそうにない問題があっても、時間をかけて考えることも心掛けてください。
また、定期考査の範囲はかなりの量になります。授業をしっかりと受けて基本的な考え方を学び、それをもとに問題集や参考書の問題を解いて復習する。このような学習スタイルを早く確立しましょう。定期考査の直前になって慌てずに済むように、計画的に勉強することが大切です。

2　学習の到達目標

a. 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
b. 数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
c. 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにしている。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	図形の性質	平面図形 空間図形	a. 三角形に関する基本的な性質について理解している。円に関する基本的な性質について理解している。空間図形に関する基本的な性質について理解している。 b. 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し，図形の新たな性質を見いだし，その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして，図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 c. 事象を図形の性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	確認テスト 定期テスト など	確認テスト 定期テスト パフォーマンス課題 など	課題提出 パフォーマンス課題 など

※令和４年度以降入学生用

	場合の数と確率	場合の数 確率	a. 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則，積の法則などの数え上げの原則について理解している。具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し，順列の総数や組合せの総数を求めることができる。確率の意味や基本的な法則についての理解を深め，それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。独立な試行の意味を理解し，独立な試行の確率を求めることができる。条件付き確率の意味を理解し，簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 b. 事象の構造などに着目し，場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質や法則に着目し，確率を求める方法を多面的に考察することができる。確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり，期待値を意思決定に活用したりすることができる。 c. 事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	確認テスト 定期テスト など	確認テスト 定期テスト パフォーマンス課題 など	課題提出 パフォーマンス課題 など

※令和４年度以降入学生用

後期	数学と人間の活動	整数の性質	a. 自然数の正の約数やその個数を求めるのに，素因数分解が利用できることを理解している。素因数分解を利用して最大公約数・最小公倍数を求める方法を理解している。互除法の原理を理解し，互除法を用いて 2 数の最大公約数を求めることができる。1 次不定方程式の特殊解を求め，それによりすべての整数解を求めることができる。記数法について理解している。 b. 2 数の最大公約数，最小公倍数を利用して問題を考察することができる。互除法の計算から最大公約数を表す式が導かれることを具体例から一般論に拡張し，考察することができる。整数に関する問題を，1 次不定方程式に帰着させて考察することができる。ゲームの設定やパズルの仕組みを論理的に考察することができる。 c. 日常生活における具体的な事象の考察に，約数と倍数の考えを活用しようとする。ゲームで勝つ方法やパズルの仕組みなどを，論理的に考察しようとする。	確認テスト 定期テスト など	確認テスト 定期テスト パフォーマンス課題 など	課題提出 パフォーマンス課題 など
	指数関数と対数関数	指数関数 対数関数	a. 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し，指数法則を用いて数や式の計算をし，指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、対数の意味とその基本的な性質について理解し，簡単な対数の計算をし，対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 b. 指数と対数を相互に関連付けて考察し，指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について，多面的に考察し，二つの数量の関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，問題解決に活用し，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 c. 事象を指数関数と対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	確認テスト 定期テスト など	確認テスト 定期テスト パフォーマンス課題 など	課題提出 パフォーマンス課題 など